

8

滝のような激しい雨になったら、無理な避難はやめてください（避難行動④）

1. 大雨特別警報、氾濫発生情報は発表されていませんか？

- テレビやラジオ、インターネット等で防災情報を確認してください。
- 窓から外の様子をぞいてください。
 - ➡ 雨が滝のように降っていませんか？ゴーゴーと降り続いているませんか？
 - ➡ 道路が水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなっていますか？
 - ➡ 車のワイパーが使えなくなっていますか？

**この段階での立退き避難はとても困難です。
命にかかります。**

- その時の水位に応じて、近隣で2～3階以上の鉄筋コンクリート造など堅固な建物内で安全を確保（垂直避難）してください。
- 千丈川が氾濫すると、水が引くまでの時間は最大で約半日～1日と想定されています。そうなる前に早めに避難してください。



9

早め早めの避難行動が開始できるように、 水害を想定した避難訓練を行いましょう（事前準備⑤）

「いざ避難！」という時に備えて、家族や隣近所で話し合い、避難行動の準備をしておきましょう。

1. 地震・津波訓練だけではなく、水害を想定した避難訓練も行いましょう！

- 避難所・避難場所までの移動にどれくらい時間がかかるのか、避難経路の途中に危険な場所はないのか、水害時の避難行動を確認しておきましょう。
- 訓練時にはハザードマップを活用して、避難所や避難場所、避難経路の安全性を確認しましょう。



2. 避難時の持ち出し品を準備しましょう！

- 避難するときの荷物は、いつでも持ち出せるように事前に準備してください。

□ラジオ	□懐中電灯	□薬・貴重品（財布等）
□非常用食料	□飲料水	□衣類（着替え）など



千丈川流域に住むみなさまへ！

- 千丈川が一度氾濫すると、短時間で氾濫区域が拡大し、市街地全体が浸水する可能性があります。
- 自ら必要な情報を収集し、自らの判断で「早め早めの避難行動」を開始することが重要です。家族や隣近所に声掛けして、早め早めの避難行動を開始してください。
- 常に最新の防災情報を入手し、状況の変化に応じた避難行動を心掛けてください。

